

保護者の皆様

札幌市立北園小学校  
校長 斎藤 弘樹

## 令和6年度全国学力・学習状況調査 本校の調査結果の概要について

日頃より本校の教育活動に対し、御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。6学年対象に実施した上記調査について、札幌市教育委員会から「札幌市の調査結果の概要」が公表されています。本校におきましても、結果や課題、改善の方向等がまとまりましたので、本紙面と学校HPにてお知らせします。

なお、本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることを御理解願います。

## 1 教科に関する調査結果から

## 【小学校国語】

領域と本校の概要	調査における課題	改善の方向
「話すこと・聞くこと」 ・全国平均を下回っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>●資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫して話すこと。</li> <li>●目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討して話すこと。</li> <li>●目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にして書くこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○聞き手の興味・関心、情報量などを予想し、どのような資料を用いるとよいかを考える場や、やりとりのモデルなどを活用して気を付けることを確かめる場を設ける。</li> <li>○低学年から自分で話題を決めて話す学習を充実させるとともに、学習活動を振り返る際に、聞き手が知りたいことを想定して内容を検討することができたか、という視点をもつことができるようにする。</li> <li>○書いた文章を互いに読み合い、どのように修正したり付け足したりすると、文章構成や表現方法がよりよくなるか伝え合う学習を充実させる。</li> </ul>
「書くこと」 ・全国平均を下回っている		
「読むこと」 ・全国平均を下回っている		
「言葉の特徴や使い方に関する事項」 「情報の扱い方に関する事項」 「和額の言語文化に関する事項」 ・全国平均を下回っている		

## 【小学校算数】

領域と本校の概要	調査における課題	改善の方向
「数と計算」 ・全国平均を	<ul style="list-style-type: none"> <li>●除数が小数である場合の除法の計算をすること。</li> <li>●示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断すること。</li> <li>●問題場面の数量の関係を捉え、式に表すこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○整数の場合の除法を確実に計算できるようにするとともに、小数の計算は整数に置き換えて計算することを理解できるようにする。</li> <li>○集めたデータや分析の仕方などについて、多面的に捉えたり、妥当性について考察したりする学習を充実させる。</li> <li>○問題場面を図に表し、その図と問題文のそれぞれの数量の関係を比較し、捉えることができるように指導を工夫する。</li> </ul>
「図形」 ・全国平均を下回っている		
「変化と関係」 ・全国平均を下回っている		
「データの活用」 ・全国平均を下回っている		

- ・全国平均との差が+3.1ポイント以上⇒『上回っている』
- ・全国平均との差が±3.0ポイントの範囲内⇒『ほぼ同程度』
- ・全校平均との差が-3.1ポイント以下⇒『下回っている』

## 2 児童に対する質問調査から

### <全国平均よりも肯定的な回答が上回っている項目>

- 学校の授業時間以外に（略）1日当たりどのくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか。→「30分以上」と回答した子が全国比+10.5ポイント
- （タブレット端末を使うことで）画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる。  
→肯定的な回答が全国比+8.2ポイント
- （タブレット端末を使うことで）友達と協力しながら学習を進めることができる。  
→肯定的な回答が全国比+10.9ポイント  
※ICT機器の活用により、学習が充実していることが伺えます。子どもたちにとって「文房具」となるよう、タブレット端末の活用法について研鑽を重ねていきたいと考えています。また本校では、家庭学習で使うと判断した場合に、タブレット端末を持ち帰ることができます。今後も積極的に家庭学習でも活用することができるようにしていきます。

- 英語の勉強は好きですか。→肯定的な回答が全国比+10.7ポイント
- 英語の授業の内容はよく分かりますか。→肯定的な回答が全国比+3.7ポイント  
※昨年度と同様、「外国語科」に関して、肯定的な回答が多く見られました。本校では、専科教諭やALT（外国語指導助手）による指導を通して、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養い、コミュニケーションを図る資質・能力を育成しようとして取り組んでいます。今後も、3・4年生の外国語活動を含めて、子どもたちが分かる・できる・楽しい学習を進めていきます。

### <全国平均より肯定的な回答が下回っている項目>

- 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。  
→肯定的な回答をしている子が大半を占めているものの、全国平均よりも低い割合になりました。
- 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしていますか。（学習時間やゲームは除く。）  
→「2時間以上」と回答した子が、全国平均よりも高い割合になりました。  
※規則正しい生活について、学習指導要領「特別の教科 道徳編」には「人の生涯にわたってあらゆる行為の基盤となり、充実した生活を送る上で欠くことのできないものとなる。」と記載されています。望ましい生活習慣の大切さを理解し、自分の生活を振り返って改善すべき点を見つめ直すことができるようにしていきます。御家庭でも、基本的な生活習慣について、今一度話し合ってくださいよう、お願いいたします。
- 算数の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか。  
→肯定的な回答をしている子が大半を占めているものの、全国平均よりも低い割合になりました。  
※算数を学習する意義に気付くことができるように学習を展開し、学習意欲が更に高まるように指導を充実させていきます。